

二〇二五年四月四日

ぼんやりと沖の島影春灯
ま青なる海見えてをる花並木
外つ国へ去ぬ子らと見る桜かな
木の芽雨地層あらはに切通し

わかば
よし女
あひる
むべ

二〇二五年三月二十九日

啓蟄や新車となりし押し車
八方へ風の意にそふ雪柳
たこ壺の山積みされし春の浜
董雨
むべ
よし女

二〇二五年四月三日

賑やかなナース詰所の春の昼
走り根を枕としたる落椿

もところ
澄子

二〇二五年四月二日

亡き母と眺めし窓に桜咲く

わかば

二〇二五年四月一日

ピン逃げの玄関チャイム万愚節
ケイブルカー終点花の雲の中
花吹雪天誅組の辞世碑に

よし女
あひる
なつき

二〇二五年三月三十一日

枝垂れては疏水になびく桜かな

たか子

二〇二五年三月三〇日

花冷えや孔雀は羽をひらかざる
もりあがるシングル会や花筵

なつき
たか子

毎日句会みのる選・二〇二五年四月六日